

土・ひと・くらしをつなぐ、香川の交流誌



きらり

11

2020 NOVEMBER

JA
掲示板

J A 香川県「道の駅滝宮」ファーマーズマーケット(仮称)
令和3年3月下旬オープン予定

出荷会員募集

JA香川県「らいふスペシャル」
本誌特集記事で振り返る「ブランド米」へのあゆみ
「おいでまい」ヒストリー
JA香川県の「支店協同活動」

2020年度
vol.1

かんきつ産地に活気もたらす
レモン栽培で目指すは、
“かっこいい農家”!



JA香川県は
自己改革に
取り組んでいます!

農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

JA香川県では
「新型コロナウイルス
感染症対策本部」を
設置し、感染防止に
取り組んでいます。

本誌特集記事で振り返る “ブランド米”へのあゆみ

あぐり special

「おいでまい」ヒストリー

香川県オリジナル品種のお米「おいでまい」の新米シーズンがやってきました。

「きらり」には平成23年8月号に初登場(まだ名前はついていませんでした)し、

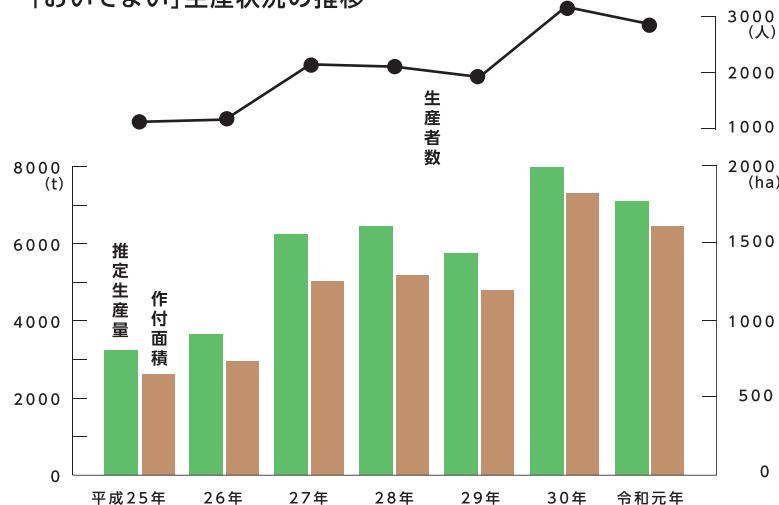
今年で10年目となる「おいでまい」。その特集ページを振り返りながら、

「おいでまい」の魅力をお伝えします。



今さら聞けない?!

「おいでまい」生産状況の推移



「おいでまい」誕生の経緯と特徴は?

なかで
香川県で中生品種として多く栽培されてきたのは「ヒノヒカリ」ですが、夏場の高温化により一等米比率が低下してきました。また、米の消費動向は“量から質(食味)”の時代に入り、全国の産地がより付加価値の高いブランド米の開発にしのぎを削るように。そこで、当県でもオリジナル品種を!ということから、香川県農業試験場が10年以上も交配を重ね、ついに「香系8号」(後の「おいでまい」)が誕生したのです。

「おいでまい」は、耐暑性(高温登熟性)にすぐれ乳白が発生しにくいため外見がきれいで、ほどよい粘りがあり食味もよいという特長があります。全国のブランド米が競う「食味ランキンギング」ではこれまでに4回、最高評価の“特A”を獲得しています。



「おいでまい」ヒストリー 「きらり」特集ページでの「おいでまい」のあゆみ



平成25年
11月号

平成24年、「おいでまい」の普及を図るため「おいでまい」委員会を設立。香川県とJA香川県、生産者代表や販売団体などで構成され、品質向上やブランド化推進を担うことに。25年からは、各地域で募集した認定生産者による本格栽培が開始されました。



平成23年
8月号

平成8年、香川県農業試験場で「県オリジナル品種」の開発に向け育種を開始。14年に交配した「香系8号」が22年品種登録、同年11月には香川県の奨励品種として登録されました。21年からの各地域での試験栽培を経て、23年には販売開始。「おいでまい」と命名されたのもこの年です。



平成26年
6月号

一般財団法人日本穀物検定協会が実施する「食味ランキング」に平成25年産を初出品。見事、四国初となる“特A”（最高評価）を獲得しました。



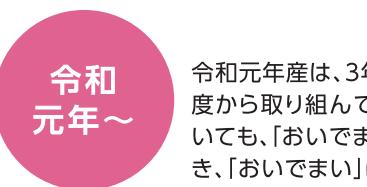
平成27年
5月号

平成26年産は、「食味ランキング」「特A」（最高評価）を前年に引き続き獲得しました。大幅な増産計画に伴い県外出荷も本格化。東京の香川・愛媛共同アンテナショップ「せとうち旬彩館」でのお披露目イベントや大阪でのラジオCMなど、ブランド育成のための販促活動も活発になりました。



平成30年
11月号

「おいでまい」への品種転換は順調に進み生産量が増加。各地のカントリーエレベーターの受け入れ体制などを整備強化。平成28年産からは県内の学校給食の米飯のほとんどが「おいでまい」になりました。また、平成29年産では8割が県内消費でしたが、県外への販路拡大も本格化。



令和元年産は、3年ぶりに「食味ランキング」「特A」を獲得。当JAが同年度から取り組んでいる「第6次中期経営計画」の「農業振興プラン」においても、「おいでまい」のブランド力向上が目標とされています。引き続き、「おいでまい」に関する情報は「きらり」でお伝えしていきます。



平成29年
5月号

前年は天候不順などにより獲得できなかった「食味ランキング」「特A」を、平成28年産では獲得することができました。より一層のブランド力向上を目指して、県内外でさまざまな販促活動も展開されました。

関係者みんなが力を合わせた販売促進戦略も画期的でした

マスコットキャラクター 「おいでまいちゃん」

「おいでまいちゃん」は、毎年、当JAが各地域で主催する「ふれあい祭り」をはじめとする各種イベントにひっぱりだご。

※今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「ふれあい祭り」は中止となっています。



「おいでまいPR大使」「おいでまいフレンズ」で知名度アップ

「おいでまい」の魅力をアピールしたいと、平成28年には「おいでまいPR大使」、平成30年には「おいでまいフレンズ」を選定。テレビCMやインターネットなど多様なメディアを活用して認知度向上に努めました。また、レシピやダンス動画のコンテスト、イメージソング制作などさまざまなPR作戦も展開してきました。



売り場で目立つ! 外装デザインを採用

米袋など商品のデザインは、「おいでまい」のシンボルマーク(当JAが登録商標を取得)を大きく配した可愛らしくインパクトのあるもの。無洗米や無菌パックなど、現代の多様なライフスタイルに対応した商品を取り揃えました。



トップセールス

例年、新米出荷の時期に高松市の丸亀町グリーンで行われる「新米発表会」など、県知事や当JAの理事長・役員がトップセールスを行うなど、消費者へのPR活動を展開しています。今年も10月30日、新型コロナウイルス感染防止対策を講じつつ行われました。

令和2年産の新米を味わおう! 買って応援!! 食べて元気!! 「おいでまい」フェア

「おいでまい」委員会では、キャンペーン対象店舗で期間中、「おいでまい」を利用したメニューを注文して応募いただいた方の中から抽選で賞品をプレゼント! また、量販店などでキャンペーンシールが貼ってある新米「おいでまい」を購入して応募いただいた

方の中から抽選で賞品をプレゼント!
「おいでまい」を食べてふるってご応募ください!

【期間】令和2年10月30日(金)～令和2年12月31日(木)

【問い合わせ先】

「おいでまい」フェア事務局(西日本放送サービス株式会社内)
TEL 087-867-6774(平日9:00～17:00)



品質向上への取り組み

認定栽培者制度と「おいでまい」マイスター



「おいでまい」栽培マニュアル



い」委員会が生産全体を管理し、定期的な研修会の開催など栽培管理の徹底を図っています。

さらに、主に試験栽培から参加している各地域の担い手生産者を中心、「おいでまい」マイスターの認定制度も確立。構成員は現在33人で、「栽培基準田」の設置やPR活動への参画、新規生産者への栽培技術の指導にもあたっています。



9月28日、当JA綾坂地区営農センターで開催された、中讃地域おいでまい生産者組合の「土づくり研修会」

「おいでまい」は、香川県内だけで栽培が許されている品種です。「ブランド米」としての高い品質を守るために、当初は増産だけを目的とはせず、「おいでまい」委員会が施肥量や水管理などの栽培法をマニュアル化。これに基づいて適正な栽培を行う認定栽培者だけが生産できるシステムを採用しました。現在も「おいでま



JA香川県の 「支店協同活動」

当JAが地域活性化への貢献と、組合員・店舗利用者・地域住民との結びつきを強めることを目的に、すべての支店・出張所が行っている「支店協同活動」。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、「イベント型活動」など多くの取り組みについて実施できない状態が続いています。そんな中ですが少しづつ、できることから取り組んでいます。今月号では、その中から3事例の活動を紹介します。



【中央地区】

「秋冬野菜の栽培管理は任せて」
営農指導員が女性部員らに講習会

下笠居支店

家庭菜園教室(2回目)

9月23日(水)

参加者:女性部員・支店利用者17人、職員3人

下 笠居支店では、平成29年度から、女性部員や支店利用者を対象に『家の光』の記事などを利用して、営農指導員が旬の野菜の栽培に関する講習会を実施しています。

今年度2回目となる今回のテーマは、秋冬野菜の栽培、特にブロッコリーの管理について。実際に家庭菜園をしている参加者がほとんどのためか、具体的な悩みや改善方法などについての質問がありました。職員が丁寧に回答するなど、役立つ情報が満載の講習会でした。

参考者の一人は「ミカンや季節の野菜を産直に出しているので、少しでも勉強してよい品にしたいと思いまして。一緒に参加していける友だちも、皆さんとても勉強になると喜んでいます」と話してくれました。

同 支店の岡川武史支店長は「今回も参加者全員が興味を持ち真剣に聞いてくださって、有意義な講習会だったと思います。次回以降も、さまざまな企画を予定しています。新型コロナウイルスが収まれば、昨年度実施したJAの施設見学や県内の産直巡りなどについても検討したいと思っています」と、次の意気込みを語っていました。

下笠居支部女性部
丸山 知子さん

参考者の声



普段一人で作業していると解決できないことや疑問点が出てきますが、野菜の専門家である営農担当職員の方に実際に質問したり相談したりできるので、とても実りのある活動だと思っています。講習後、野菜の苗を配布してくれるのもうれしいですね。

若い方や農家ではない方はJAに入りづらいイメージがあるかもしれません、そういう方にもっとJAを知っていただく機会にもなるのでは…。今後、『家の光』の記事を活用して、手芸や工作教室などの企画もしていただけたらと思います。





参加者の声

大川北部地域女性部
部長
池添 浩子さん

地域の中にある支店、また女性部として、万一の災害時などにお役に立てればとの思いから、JA職員の方と一緒に救命講習会を受講しました。

頭ではわかっているつもりでも、実際にAEDを使ってみると戸惑うこともありました。一人でも多くの人が正しい知識を得ることが大切だと感じました。



【大川地区】

「地域のために、今できる備えを」
女性部員と職員が共に学ぶ救命講習会

志度統括店

救命講習会

8月4日(火)

参加者:女性部員10人、職員4人



度統括店は、地域の中にある支店・女性部の役割として、救命講習会を女性部と一緒に行いました。
当日は、大川広域西消防署に出向き、隊員の講話とDVDで知識を身につけた後、実技講習へ。練習用マネキンを使った心肺蘇生法とAEDの使用方法、毛布と竿を使った簡易担架の作り方などを学びました。実際には使う機会のない方が望ましい知識・経験ですが、「備えあれば憂いなし」。今後も地域のお役に立てる活動を、女性部の協力も得て企画していく予定です。



参加者の声

昭和地域安全パトロール隊
隊長 **泉 勝彦さん**

元々は平成18年、「昭和校区安全パトロール隊」として婦人会を中心に小学生の下校を見守ろうと結成されました。その後、令和元年に地域のボランティアの代表などに声をかけ、校区全体の安全安心のため、笑顔あふれる明るい地域にしようと取り組んでいます。

昭和出張所に呼び掛けたところ全面協力してくれることになりました。所長さんをはじめ若い職員さんが一緒に見回ってくれるので心強く、本当に感謝しています。

J.A.さんには地域の人々とふれあいをもって、ますます存在価値を高め、繁栄してほしいと願っています。



【綾坂地区】

「地域の安全安心をみんなで守ろう」
JA職員もパトロール隊の一員に

昭和出張所

「昭和地域安全パトロール隊」巡回

毎週2回(不定期)

参加者:「昭和地域安全パトロール隊」

隊員74人(うち職員4人)



和地域安全パトロール隊」は、週に2回、青色防犯パトロール車で昭和地区全域をパトロールしているボランティア組織。現在メンバーは74名で、うち4名が昭和出張所の職員です。
時間は下校時間や夕暮れ時、夜間などさまざまで、1時間ほどかけて巡回します。車は、自主防犯ボランティアが警察に届出をして認可を受けると装備できる青色の回転灯をつけた通称「青パト」で、同出張所の車も申請済みです。
同出張所の岡本大蔵所長は「この活動に参加することで地域の防犯にも協力できるうえ、皆さんと交流できています」と、共に活動している隊員のみなさんに感謝していました。

昭

和地域安全パトロール隊」

今月は

“農”についての知識を深めよう

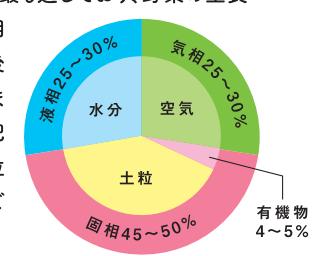
野菜作りは土づくりから

今月は家庭菜園の基礎知識の一部を紹介・解説します。今後の家庭菜園にお役立てください。

野菜作りは土づくりから始まります。土は養分、水分、空気のタンクです。植物は葉で呼吸するだけでなく根から土の中の酸素、水、養分を吸収します。よい土づくりをして野菜を作り、家庭菜園を楽しみましょう。

たいせつな土の三相

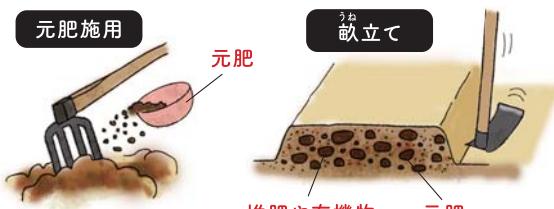
野菜作りに適した土は気相、液相、固相からできています。この三相の割合は(3:3:4)が最も適しており、野菜の生長を左右します。ただし、土の三相分布は一定ではなく、耕した直後と収穫後では大きな差があります。この差を小さくするには、堆肥など有機物を施して、土の团粒化(土の粒子が集まってだんご状になる)を安定させます。



野菜作りに適した土の三相分布

堆肥などの有機物の施し方

畑はスコップなどで深く耕し、下層の土が空気に触れるように、土を上下反転させます。このとき、1m²当たり堆肥2~3kgが全体に混ざるように、あらかじめ耕す場所にまいておきます。



同時に土壤の酸性度を調整するために、苦土石灰や消石灰を施します。なお、石灰類の使用は、元肥を施すまでに済ませておきましょう。

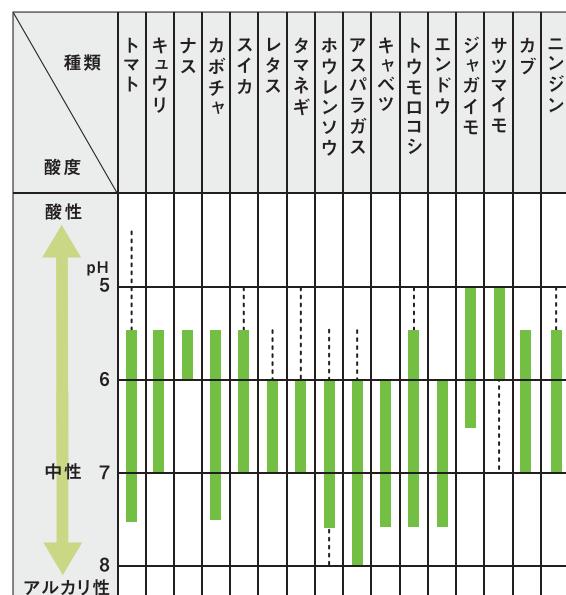
有機物のすばらしい効果

有機物は团粒化を促し、土壤微生物の働きを活性化させます。また、有機物が分解された腐食の多い土は、肥料をやりすぎても肥あたりを和らげる働きがあります。また、有機物から出る腐植酸や有機酸といったものが野菜の生育をよくしてくれます。

pH調整に必要な石灰量(1m²当たり)

土壤酸度		pH6.4に	pH6.2に	pH6.0に	pH5.8に
pH	消石灰	85g 55g	75g 45g	60g 30g	50g 20g
	苦土石灰	130g 85g	110g 65g	90g 45g	75g 25g

主な野菜が好む酸度



JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。
ホームページ <http://www.kw-ja.or.jp/>

